

蝶が舞う “清瀬” R2 清二中にやってきた昆虫たち 8 蝶 2 R2,9,13

いつの間にか、蝉の声が聞こえなくなり夏の終わりを感じます。蝶々たちのシーズンもそろそろ最後になりそうです。学校の登下校の時間に学校近くの公園や空き地で、大きい蝶を見かけました。他にも何種類も見かけたのですが、なかなか花などに止まってくれずに写真が撮れませんでした。

春から秋の期間に、清瀬で出会った蝶は写真には収められませんでした。たぶん確認できただけで15種類以上はいたと思います。カラスアゲハを見つけないと思ったのですが今年は無理そうです。

●キアゲハ チョウ目 アゲハチョウ科 アゲハチョウ属

自動車のタイヤで一休みしているところです。鳥に襲われたのでしょうか？ 右の後翅の先が欠けています。アゲハチョウ（ナミアゲハ）に似ていますが、羽の付け根付近の様子が、縞模様かどうかで見分けられますね。幼虫の写真も今年の子ですが撮影場所は都内にあるアシタバ畑です。キアゲハはセリ科の植物、ナミアゲハはキンカン等の柑橘類に卵を産みます。種類により食性が異なります。



●ジャコウアゲハ チョウ目 アゲハチョウ科 ジャコウアゲハ属

清瀬中央公園で、グレー色の大きい蝶が目に入りました。なかなか花や草に止まってくれないので、飛んでいる様子を撮ったのですが、ブレブレの写真になってしまいました。オスは黒い色をしているので、出会ったのはメスです。清瀬にいる黒いアゲハ蝶には、他にクロアゲハ、ナガサキアゲハ、カラスアゲハなどがいるそうです。写真が良くないので、図鑑で見て下さい。



●アカボシゴマダラ チョウ目 タテハチョウ科 アカボシゴマダラ属

この蝶も清瀬中央公園で出会いました。後翅の赤い模様が鮮やかです。図鑑によると、この蝶は東アジア大陸に生息している種で、日本では2000年前後から突然埼玉県で見つかり、その後関東地方全体に生息域が広がり、今では愛知県や福島県あたりまで広がっているそうです。どうやらペットが逃げたというよりも、人為的に放蝶されたと推測されています。外来種で他の蝶の生態系に影響を与えないといいですね。



問 そろそろ蝶の季節も終わりですが、どのように冬を越すのでしょうか？

下の①～⑤より選んでください。解答は一つとは限りません。

- ① 卵のままで、冬越して春になって孵化する
- ② 幼虫（いもむし）のままで、木の根元などで冬を越す
- ③ 蛹（さなぎ）になって冬を越す。
- ④ 成虫（蝶）のままで、枯れ葉などの中でじっとして春を待つ
- ⑤ 渡り鳥のように南の方に渡って冬を過ごし、春に再び来たに移動する。

(1)



(2)



答 解答は下の動画にアクセスしてみよう！

【関連動画】

■(1)「チョウの冬越し」 NHK for school クリップ 2:16

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005402189_00000

■(2)「リュウキュウアサギマダラの集団越冬」 NHK for school クリップ 2:35

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005400568_00000